

昨年度(令和元年度)の授業改善プランの検証 現6年(旧5年)

	成果	課題	改善策
国語	<p>◎様々な場面でペアやグループでの話し合い活動をしたことにより、自分の立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うことができた。</p> <p>◎考えを共有する時間を学習活動に取り入れることで物語文や説明文に対する見方が広がった。</p> <p>◎日記や感想等、文章を書く回数を増やしたことで、自分の意見とその理由を区別して書くことができる児童が増えた。</p>	<p>▼語彙が少なく、聞いたことはあるが意味は知らないという言葉が多い。</p> <p>▼漢字を読むことはできるが、書くことを苦手とする児童が多い。</p> <p>▼考えをもつことはできていたが、根拠が曖昧であることが多かった。</p>	<p>★教科の枠にとらわれず、意味調べの時間を設けたり辞書を使用する時間を増やしたりして、語彙を習得させる。</p> <p>★宿題や漢字テスト等で繰り返し漢字学習に取り組ませる。復習の機会を設ける。</p> <p>★根拠をもたせるために、本文に立ち返ったり、理由を明確にしたりして考えるようにする。</p>
社会	<p>◎多くの資料を提示することで、児童の興味・関心を高めることができ、主体的に学習に参加する児童が多かった。</p> <p>◎効果的に交流を取り入れることで、自分の考えに自信をもったり、深めたりする児童が多くあった。</p> <p>◎多岐にわたる資料の読み取りを継続的に行い、根拠を明確にした自らの考えをたてることができ始めた。</p>	<p>▼自分の考えをもつことはできるようになったが、相手に伝わるように文章として表現することが難しい児童がいた。</p> <p>▼継続的に振り返りを行ったが、自らの学習状況を客観的に観察できず、学習を調整できない児童が多くいた。</p> <p>▼自分の考えがなく交流に参加する児童が若干名おり、活発な交流ができないグループがあった。</p>	<p>★資料から得られる情報を目的に応じて取捨選択する能力を向上させるために、いろいろ資料を提示するようにする。</p> <p>★授業で振り返りの目的を周知徹底し、児童が客観的に自分自身を観察し、次に生かす、調整力を向上させるようにする。</p> <p>★課題解決学習での交流では、必ず自分の考えをもって参加するために、自分の考えをもつために必要な時間を確保する。</p>
算数	<p>◎問題文や資料から、分かっていることや問われていることを正確に読み取ろうとする。</p> <p>◎言葉、数、図、式、数直線などを使って適切に考えることができる。</p>	<p>▼目的に応じて数・式、図、表、グラフ等を活用し、発表やノートで表現する力が全体的に弱い。</p> <p>▼論理的に考え、問題解決の過程を説明する力</p>	<p>★ノートには友達のことを書かせることで、様々な表現方法に触れさせ、数学的な見方・考え方を広げられるように指導していく。</p> <p>★問題解決のために話し合いや思考の時間を十</p>

		<p>が弱い。</p> <p>▼円に関する学習(面積・体積)についての知識、理解、技能、数学的な考え方の力が乏しい。</p>	<p>分に保障するために、単元の指導計画を見直し、どこでどのような力を身に付けさせるのかを重点化し、計画的に進めていく。</p> <p>★公式を導き出す過程を視覚的に提示して、円周率が混じった計算を正確に繰り返し行うことや、円を含む複合図形の理解を深める。</p>
理科	<p>◎実験結果を基にした学習課題を設定することで、根拠のある自分の考えを書くことができたようになった。</p> <p>◎効果的に交流を取り入れることで、自分の考えに自信をもったり、深めたりする児童が多かった。</p> <p>◎実験の手順を説明する際、器具の使い方を徹底させたことで、安全に実験をすることができた。</p>	<p>▼本時の既習内容は活用することができるが、それ以前の学習内容を活用できない児童が多くみられた。</p> <p>▼継続的に振り返りを行ったが、自らの学習状況を客観的に観察できず、学習を調整できない児童が多かった。</p> <p>▼自分の考えがなく交流に参加する児童が若干名おり、活発な交流ができないグループがあった。</p>	<p>★今までの既習内容を活用できるようにするために、思考力を高めるような学習課題を設定する。</p> <p>★授業で振り返りの目的を周知徹底し、児童が客観的に自分自身を観察し、次に生かす、調整力を向上させるようにする。</p> <p>★課題解決学習での交流では、必ず自分の考えをもって参加するために、自分の考えをもつために必要な時間を確保する。</p>
音楽	<p>◎常時活動として毎時間の最初に身近な音楽を聴く鑑賞の学習を取り入れることで音楽を聴いて言葉で表現することに苦手意識をもつ児童が少なくなった。</p> <p>◎旋律の特徴を音楽の要素や曲想、旋律の特徴と自分の気持ちを結びつけて言葉や音楽で表現することができるようになってきた。</p> <p>◎少人数での発表する機会を行うことで、指導の充実を図ることができた。児童の表現しようとする意欲や意図を大切に、一人一人が考えたことを音楽での表現へとつなげることができた。</p>	<p>▼音楽を聴いて言葉で表現する活動を常時取り入れたことで、箇条書きでの表現はできる児童は増えたが、文章での表現が難しい児童も多い。音楽の要素と気持ちを表す言葉とを結びつけるだけでなく例や楽曲の情景へと発展させて考えることが難しい。</p> <p>▼声変わりや恥ずかしいと感じている児童が多くなり、少人数での発表では本来の力を発揮できない児童が多くいるため、表現することへつなげ</p>	<p>★文章で表現するよう声かけを行う。また、音楽の要素から思い浮かぶ例や情景の例を示し少しずつ発展的に考えられる機会を設ける。</p> <p>★一人一人が考えたことを音楽表現できるように、少人数での発表機会を多く設ける。</p>

		ることが難しい児童がいる。	
家庭科	<p>◎5年生で学習した縫い方を、製作に取り入れて繰り返し活用することで、既習の技能を定着することができた。</p> <p>◎児童に自分の作品に合った縫い方、目的に応じた縫い方を考えさせ、実践させることで、それぞれの縫い方の良さや特徴の理解に繋がった。</p> <p>◎振り返りを書かせることにより、児童が次回の改善点を見つけて、どのように改善していくか、活用して良かったことを次回にどう生かすか考える力を養うことができた。</p>	<p>▼技能面での個人差はなくなってきたが、計画的に製作を進めていくことや見通しをもって取り組むことが苦手な児童が多い。</p>	<p>★計画性や見通しをもたせる学習を取り入れる。 →調理、掃除、裁縫、消費生活において、実践に繋がる計画表を児童一人一人に作成させる。 (いつ、どこで、目的、方法など) →計画を立てることの良さや見通しをもって取り組むことの必要性を考えさせる。</p>
図工	<p>◎作品の制作途中で、ミニ鑑賞会を取り入れ、友達の作品で参考にしたい良い部分を見つけたり、自分の今までの活動の振り返りを行ったりすることで、新たに自分の表現活動に生かすことが出来た。</p> <p>◎描き方や作り方は一定で、テーマに自由性がある活動を多く取り入れるようにし、児童が最後まで取り組みやすく、児童が自分なりに工夫を取り入れられるようにした。</p>	<p>▼児童によっては、友達や自分の作品を鑑賞することから、見方や感じ方を深めることが難しく、表現活動に生かすことが出来ていない児童がいた。</p> <p>▼昨年に比べて、作品を最後まで作りあげることができた。しかし、自分なりのテーマやイメージを発送することが難しい児童が多く、適当に色をぬって終わらせてしまうといった児童がいた。</p>	<p>★表し方の工夫が取り入れられた児童作品を教師側で抽出し、ICT 機器等を活用して作品を見せることによって全体で見方や感じ方を深めるための声かけをしていく。</p> <p>★参考作品を豊富して、発想が難しい児童の手助けになるようにする。</p>
体育	<p>◎運動に対する関心や意欲は高くもっており、約束やきまりを守って運動する子どもが多い。</p> <p>◎チームで取り組む学習では、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組める。</p> <p>◎曲のリズムに合わせて、楽しんで踊ることがで</p>	<p>▼自分やグループの運動の課題を見つけ、その解決のための方法を行ったり、考えを他者に伝えたりすることが苦手である。</p> <p>▼器械運動では、課題の解決の仕方や技の組み合わせ方の工夫をしたり、自分や仲間の考えた</p>	<p>★想定される課題と、課題に対応した練習の場を提示していく。また、自分の課題とグループの課題を、分けて考えることができるよう振り返りシートを活用する。</p> <p>★課題を把握するためにICT機器を活用して課</p>

	きる。	ことを他者に伝えたりすることが苦手である。	題を見つける。技の組み合わせの例を児童に示す。授業の中で友達の様子を見る時間、考えを伝える時間をしっかりとる。
--	-----	-----------------------	---